ご利用者の皆様

2026 年 11 月 18 日
一般財団法人　日本冷媒・環境保全機構

◆◆◆　冷媒管理システム RaMS　機能追加、修正のご紹介　◆◆◆

日頃より冷媒管理システム RaMS をご利用いただき、誠にありがとうございます。
RaMS を更に使い易くするために、今回追加・修正した機能について簡単にご紹介します。

1．簡易点検記録登録時のフォーマット選択に一括登録用フォーマットと前回使用フォーマットの追加

ログブックに個別で簡易点検記録の登録の際、自身のアカウントの一括登録用フォーマットも選択できるようになりました。また、前回簡易点検記録登録の際に使用したフォーマットが「前回使用フォーマット」として選択できるようになりました（他アカウントによる一括登録用フォーマットも含む）。

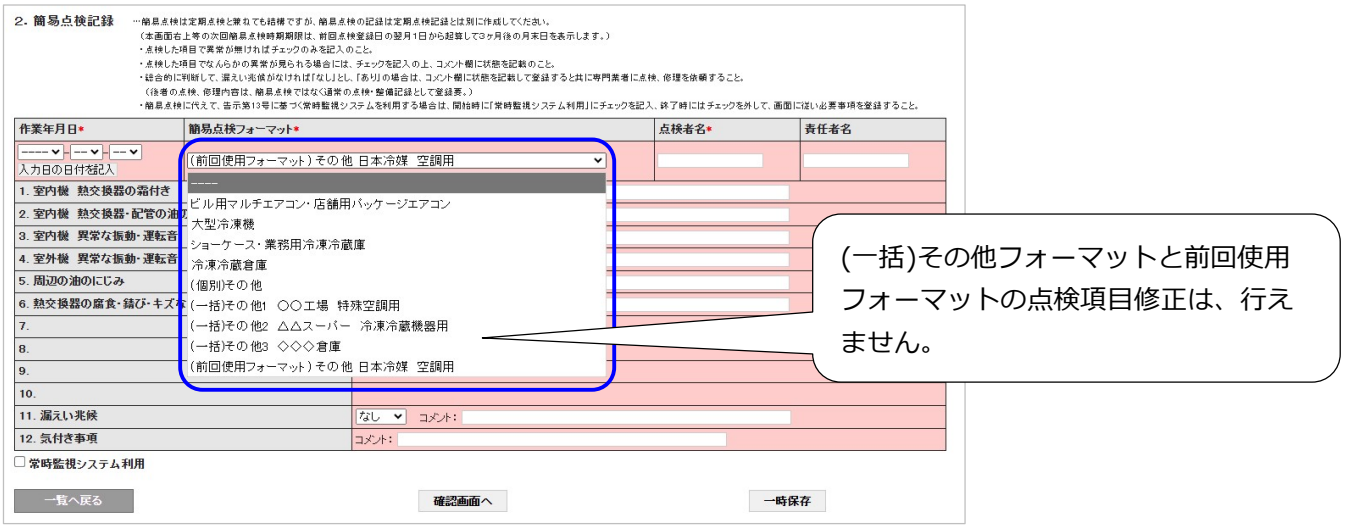
上記修正に伴い、使用フォーマット選択時の表記を一部変更致しました。

［使用フォーマット選択時の表記変更内容］

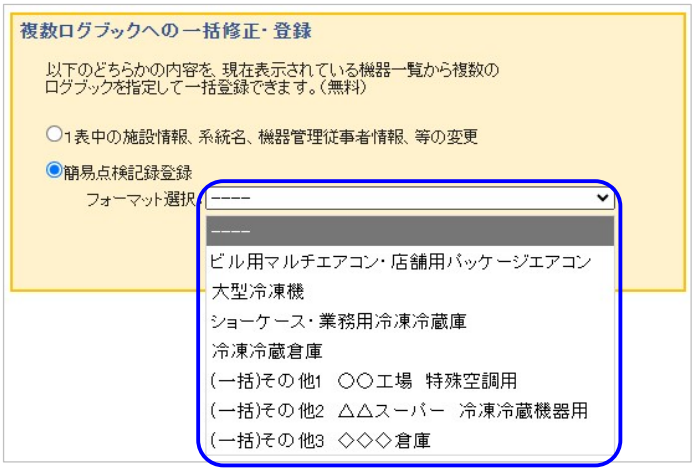
・ログブック毎に作成できる専用フォーマット　：　「その他」　→　「(個別)その他」
・一括登録用フォーマット　：　「その他１～３」　→　「(一括)その他１～３」

※上記表記についてはフォーマット選択時にのみ有効で、登録後の記録に(個別)、(一括)は表示されません。

［簡易点検記録　入力画面］



［一括登録フォーマット選択画面］



２．簡易点検記録の「責任者名」項目と一時保存機能の追加

簡易点検記録の入力項目に点検者に対する「責任者名」項目の追加と、簡易点検記録の一時保存機能を追加しました。例として、副・準ユーザーが入力した簡易点検記録を入力、記録を一時保存し、上長である正ユーザーが責任者名を追記し本登録する、といった運用が可能になりました。

※簡易点検記録の一時保存は各ログブックにつき、１件のみ保存可能です。

※一時保存された簡易点検記録の追記・削除は同じ事業所コードのアカウントのみ可能です。

２－１．簡易点検記録の内容（必須項目）を入力後、「一時保存」をクリックし、表示されるポップアップ画面の「OK」をクリックします。

※簡易点検の一時保存は必須項目の入力が必要となります。

［簡易点検記録　入力画面］



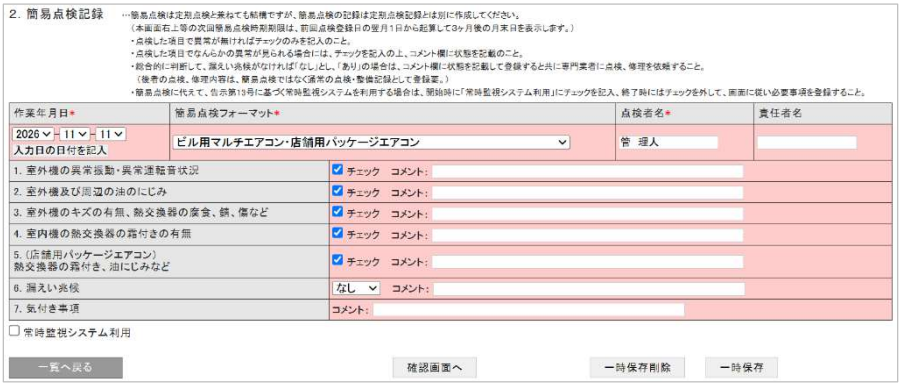
２－２．簡易点検記録が一時保存されたログブックは一覧画面の状態が「利用可能(一時保存[簡易])」と表示されます。一時保存した簡易点検記録の修正・削除、または責任者名の追記は「操作」項目の「簡易点検」から行えます。

［ログブック一覧画面］



２－３．「簡易点検」をクリックすると、一時保存された簡易点検記録が表示されます。（記録の修正や「責任者名」を追記した後に）本登録する際は「確認画面へ」、一時本内容を削除する場合は「一時保存削除」をそれぞれクリックしてください。

［一時保存された簡易点検記録］

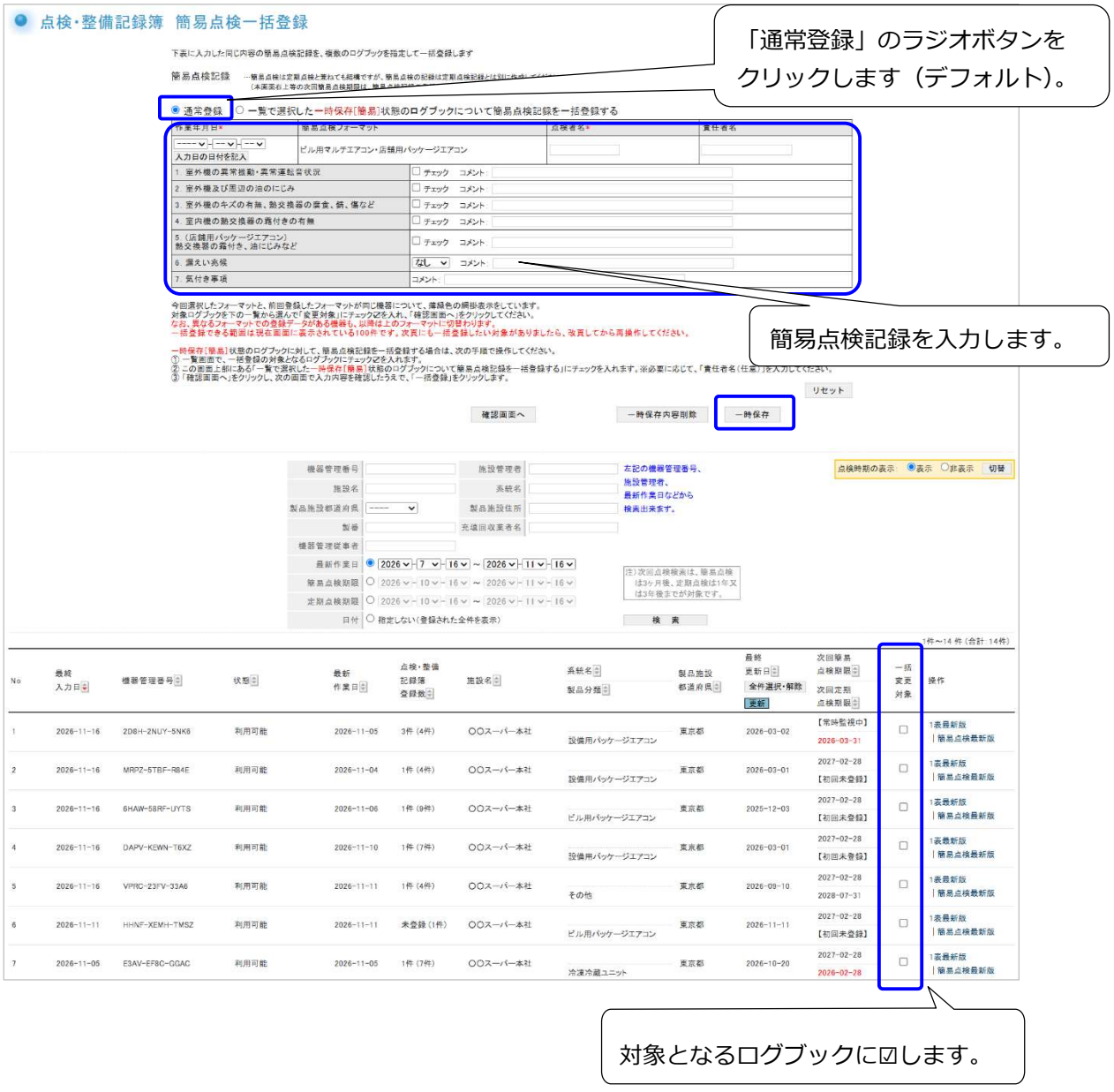


３．簡易点検記録の一括一時保存機能の追加

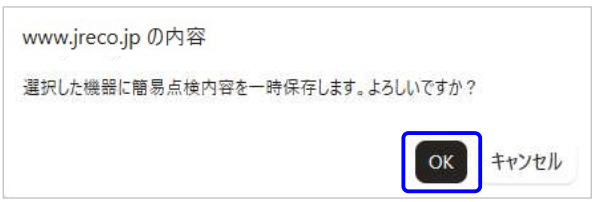
簡易点検簡易点検の一括登録画面にて、複数ログブックへの一括一時保存機能を追加しました。

３－１．簡易点検一括登録画面にて、点検記録内容の入力と対象ログブックの選択後、「一時保存」をクリックします。

［簡易点検記録　一括登録画面］



３－２．表示されるポップアップ内の「OK」をクリックすると、複数ログブックの簡易点検記録の一括一時保存が完了となります。

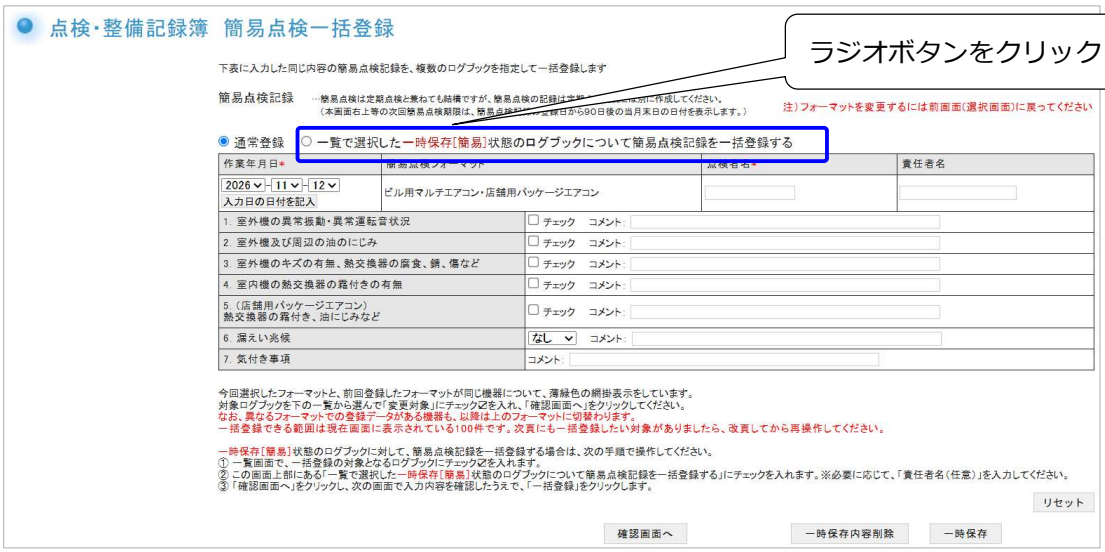


４．一時保存した簡易点検記録に「責任者名」の一括追記機能の追加

簡易点検簡易点検の一括登録画面にて、一時保存している簡易点検記録に責任者名を一括入力し、本登録できる機能を追加しました。

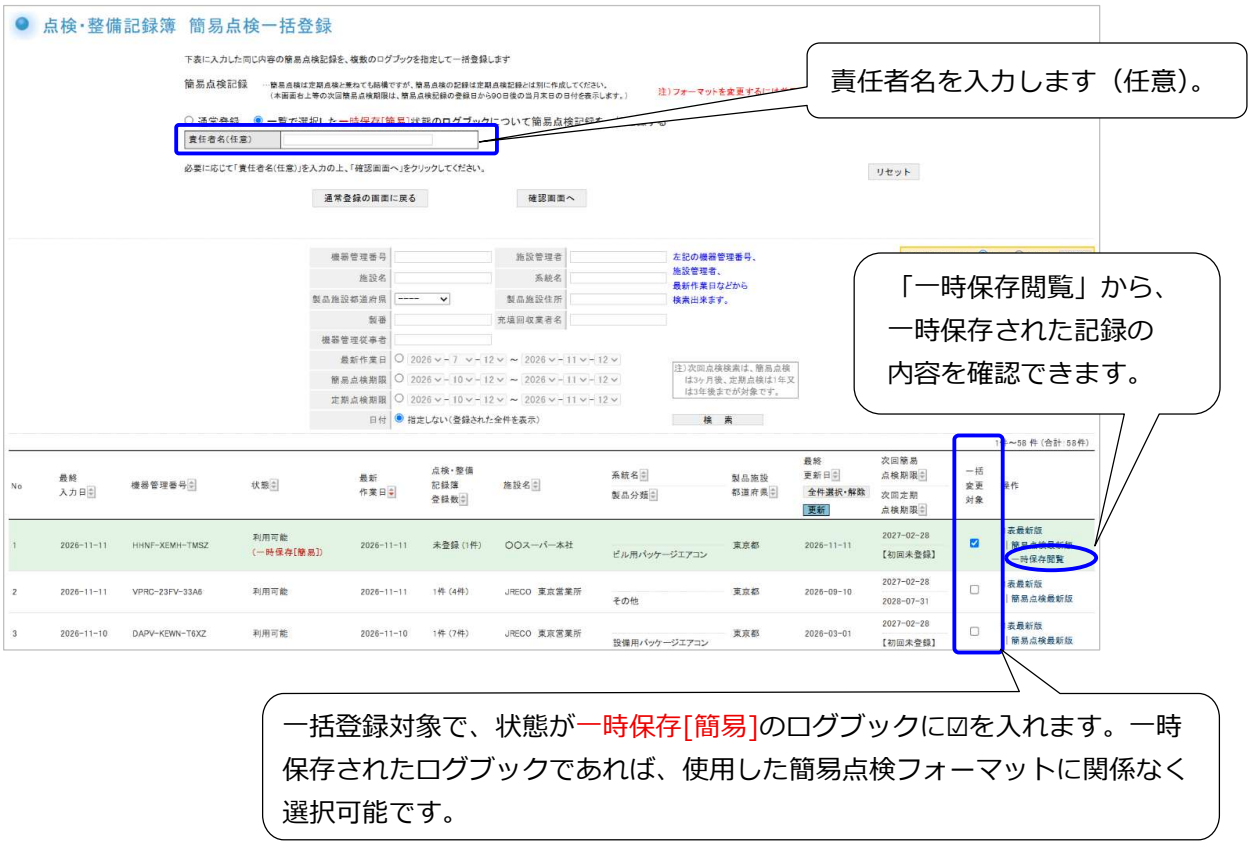
４－１．簡易点検一括登録画面で**「一覧で選択した一時保存[簡易]状態のログブックについて簡易点検記録を一括登録する」**をクリックします。

［簡易点検記録　一括登録画面］



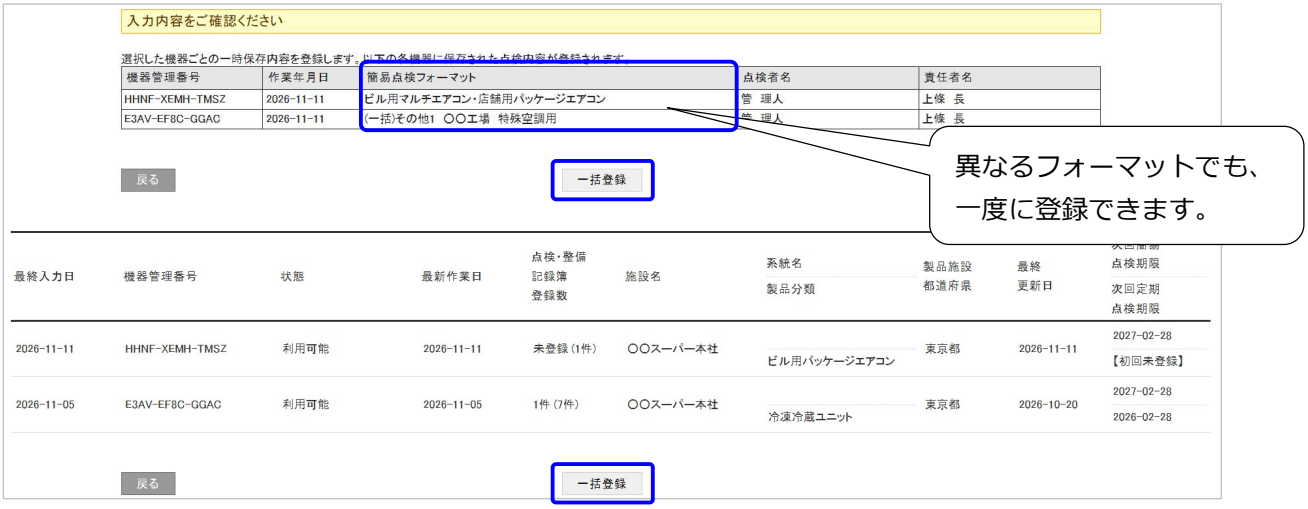
４－２．責任者名(任意)を入力し、対象となるログブック選択した後、「確認画面へ」をクリックします。
当画面の前ページにて選択したフォーマット以外の一時保存されたログブックも、一括登録の対象とすることができます。

［（一時保存）簡易点検記録　責任者名一括登録画面］

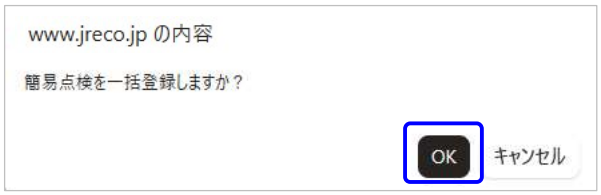


４－３．一括登録の確認画面が表示されます。内容を確認し、「一括登録」ボタンをクリックします。

［（一時保存）簡易点検記録　一括登録確認画面］



４－４．表示されるポップアップ内の「OK」をクリックすると、一時保存された簡易点検記録の一括登録が完了となります。

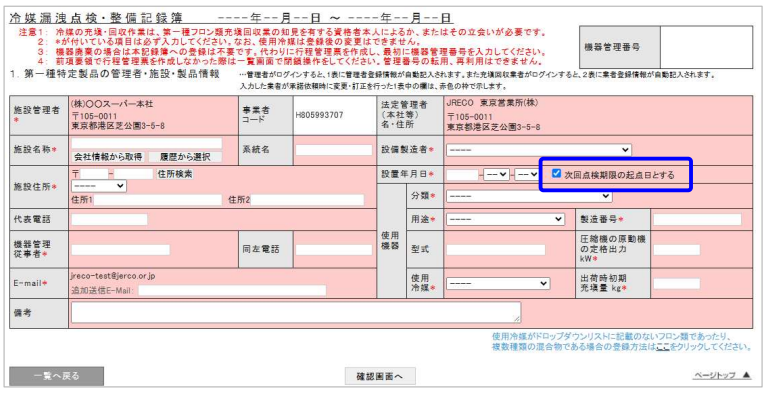


５．その他、主な追加・修正

１）ログブック１表の一括修正・簡易点検記録の一括登録を行う際、一覧画面に表示可能なログブック数を最大１００[件／ページ]に増加しました。

２）ログブック新規作成時、「設置年月日」項目にある「次回点検期限の起点日とする」のデフォルト設定が無効→有効に変わりました。

［ログブック　新規作成画面］



以　上